

9 研究活動と研究環境

目標群

2005年度以降に設定した目標（2003年度に設定した目標のうち次の項目について一部修正・追加）

【9.2 研究活動】

1. 「言語科学」「言語文化学」「言語教育学」「日本語教育学」の4つの領域に関する研究を深化させ、それらに関する研究論文・研究成果を発表していく。
2. 国内外の学会での活動をさらに促進する。

進捗状況報告

2005年度から大学院学生の学会交通費補助として1人につき年1回4万円を補助する制度を立ち上げた。ただし、計20万円の予算枠あり。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

博士論文提出に先立って博士候補者資格試験を実施し、業績書を出させるので対象となる者の論文数は把握している。それもにらみながら施策の適切性について検証を継続していく。

学内第三者評価

大学院生の論文執筆や学会報告へのモチベーション向上のための取り組みが評価できる。その成果に期待したい。

また、大学院生の論文数などを把握し、それらの数量的なデータによって施策の適切性などについて検証を継続していくことが望まれる。